

病院・施設での 福祉用具供給システム

94-98 **1** 医療と介護の連携における福祉用具提供のあり方
●北島栄二

100-107 **2** 院内での福祉用具供給の仕組み
ーテクノエイド部からの発信
●淡野義長, 他

108-112 **3** 老健施設での福祉用具供給
●當利賢一, 他

114-118 **4** 患者活動の向上・至適化を目的とした当院における
福祉用具供給システム
●井上靖悟, 他

120-123 **5** 福祉用具専門相談員と病院・施設の専門職の連携
●佐藤大介

124-128 **6** 医療機関から在宅へ
ー福祉用具の継続性と住環境整備について
●横山俊之



入院・入所中の福祉用具は、利用者が訓練の早い段階において住み慣れた家でできるだけ自立した生活ができるよう居宅の生活環境を想定し、福祉用具等を活用した訓練を取り入れることが重要です。また、退院・退所時には訓練で得られた成果あるいは課題について関係者に情報提供され、それを踏まえた介護サービスが提供されることが期待されています。

本特集では、医療機関、介護老人保健施設においてリハ専門職を中心とした福祉用具供給システムを紹介していただきます。特に、退院後の福祉用具利用の継続性を踏まえたリハ専門職のかかわりについて注目してください。

企画担当 ●渡邊愼一（横浜市総合リハビリテーションセンター，作業療法士）